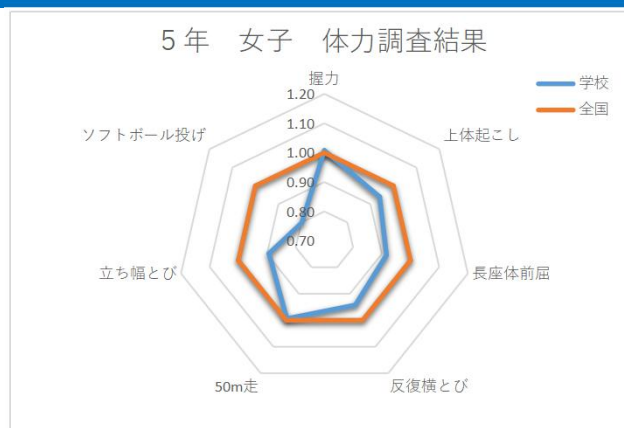
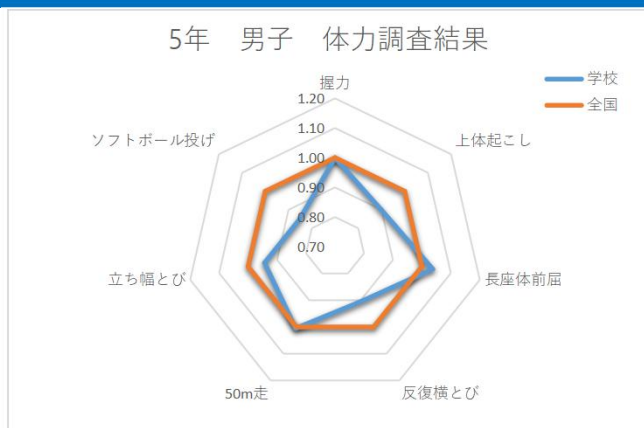
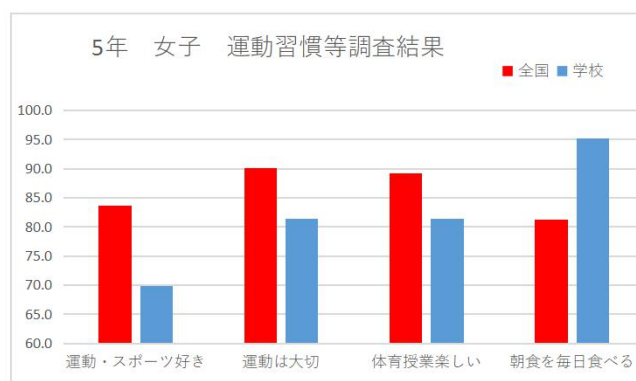
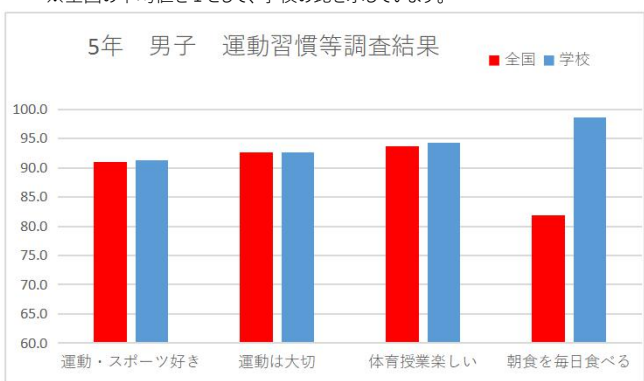


1. 現状（令和 3 年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果より）



※全国の平均値を1として、学校の比を示しています。



※「運動・スポーツが好き」「運動は大切」「体育の授業は楽しい」については、肯定的な回答の割合を示しています。

2. 改善プラン

① 現状と課題

男子、女子ともに全国平均と比べて低い項目が多い。男子だけに絞って言うならば体育の授業や運動の大切さについては肯定的な意見が多い。授業中ではいきいきと活動している一方で、日常や休み時間に運動ができていないのではないかと考えられる。特にソフトボール投げの項目は男女ともに非常に低い数値となっている。これは休み時間に投げる運動をしていない児童が多いことも関わっていると考えられる・本校の児童は休み時間鬼ごっこをしている割合が高い。その結果が結果にも反映されており、50m走の記録は全国平均を上回るか、それに近いものになっている。体育の授業以外で、いかに運動を行う機会を作ることができるかが大切であると考えられる。

② 目標・めざす子ども像

様々な運動に関心を持ち、運動を楽しむことのできるような子の育成
 児童の俊敏性・瞬発性を高める
 児童の投げる力を高める

③ 取組み

取り組み内容	対象学年	取組時期	元気力としての観点			
			体力	保健	生活習慣	食育
体育の授業時間に体育カードの活用	全学年	通年	○			
縄跳び習慣、みしまらそん（持久走）の実施	全学年	3学期	○			
体育委員会が運動場の遊具の紹介を全校に伝える	全学年	1学期	○			
学習時間、運動時間、朝食を食べたかどうかを確認するがんばり習慣を実施。	全学年	通年			○	
健康診断時に、養護教諭から生活習慣病について指導	全学年	1学期		○		
食育通信・保健だよりを配布	全学年	毎月		○		○
投げる力を高める教具を体育館に常時設置する。	全学年	通年	○			
ラダートレーニングの導入	全学年	通年	○			